

平成21年度山村振興関連予算概算決定額

省庁名： 環境省

(単位：千円)

事 項	平成20年度 当初予算額	平成21年度 概算決定額	対前年度比	備 考
	千円	千円	%	
1. 自然公園等事業	11,401,000	11,048,000	96.9%	国立公園等において、自然環境の保全や喪失・変容した自然生態系の再生を図るとともに、自然との多様なふれあいを推進するための施設整備を行う。
2. 国立公園等民間活用特定自然環境保全活動（グリーンワーカー）事業費	288,000	270,000	93.8%	国立公園等において、自然や社会状況を熟知した地元住民を雇用し、海岸や山岳地の保全管理や島しょ部の海浜漂着ゴミ対策など清掃活動等を行う。
3. 特定鳥獣等保護管理実施調査等	158,770	146,924	92.5%	特定の野生鳥獣の地域的な増加に伴い、農林水産業被害が多発している地域において、鳥獣の生態に応じた適切かつ効果的な保護管理の推進や野生鳥獣の管理の中核的担い手となる人材育成を行う。（この他、平成20年度補正予算として、特定鳥獣保護管理対策促進支援事業（40,000千円）を実施している。）
4. 国指定鳥獣保護区における保全事業（自然公園等事業の内数）（再掲）	11,401,000 の内数	11,048,000 の内数	96.9%	鳥獣保護区において、鳥獣の生息環境が悪化した場合に、区域内の鳥獣の生息地の保護及び整備を図るための施設の設置等の事業を行う。
5. 特定鳥類・哺乳類生息情報収集調査（自然環境保全基礎調査費の内数）	332,440 の内数	249,914 の内数	75.2%	農林水産業や生態系等に大きな影響を及ぼす鳥類及び哺乳類を対象として効果的かつ科学的な保護管理に必要な全国的生息状況の把握、個体数増減・生息密度等の推定に係る重点的なデータの収集・解析を新たに行う。
6. 野生動植物保護管理対策（生物多様性保全推進支援事業の内数）	100,000 の内数	130,000 の内数	130.0%	野生動植物の個体数の増加、分布の変化などにより、地域の住民等と野生動植物の保護等との軋轢が生じている場合や、個体数の減少により地域個体群の存続に支障が生じている場合等において、地域等における適正な野生動植物保護管理対策及び絶滅のおそれのある野生動植物の保護対策を支援することにより生物多様性保全の推進を図る。

省庁名： 環境省

(単位：千円)

事 項	平成20年度 当初予算額	平成21年度 概算決定額	対前年度比	備 考
	千円	千円	%	
7. 水環境保全事業（水循環計画策定等調査費等）	87,948	72,697	82.7%	水環境改善・水循環の健全性の回復を図るための調査等を行う。
8. 浄化槽整備事業（污水处理施設整備交付金（内閣府計上分）を除く）	13,040,000	14,344,000	110.0%	湖沼等公共用水域の水質汚濁の大きな原因となっている生活排水の対策を推進し健全な水環境を確保する。 このほか、内閣府で計上している污水处理施設整備交付金により浄化槽整備を推進する。
9. 廃棄物処理施設整備事業（浄化槽設置事業及び浄化槽市町村整備推進事業を除く）	66,839,000	58,808,000	88.0%	廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）を総合的に推進するため、国と地方が協働し、広域的かつ総合的に廃棄物処理・リサイクル施設の整備を推進する。 〔循環型社会形成推進交付金交付対象地域〕 人口5万人以上又は面積400㎢以上の計画対象地域を構成する市町村（山村地域等については、特例として人口又は面積要件に該当しない場合でも交付対象とする）
10. 「五感で学ぼう！」子ども自然体験プロジェクト	26,367	21,482	81.5%	関係省庁と連携し、農山漁村での自然体験や国立公園内での自然保護官の業務体験といった五感で学ぶ原体験を通じて、人としての豊かな成長など次世代を担う子ども達の育成を図るとともに、自然と人との共生や生物多様性保全について子ども達を始め関係者の理解を深める。